

学科名	情報処理科
コース名	
授業科目	情報系資格対策講座 3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	60
単位数	4
担当教員	山本 純士
実務経験	有
実務経験職種	システムエンジニア
授業概要	IPAが主催する国家試験・情報処理技術者試験に合格することを目的とする。合格までの学習を通して、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能を習得し、実践的な活用能力を身に付ける。
到達目標	学習到達度に応じたコース設定を行い、各コースにて目標とする国家試験を設定する。科目A免除試験に合格していない（失効した学生含む）は、ITパスポート試験（IP）を目指す。科目A免除試験に合格した学生は、基本情報技術者試験を目指す。科目A免除試験に合格した学生で、情報セキュリティ分野に特化したい学生は、情報セキュリティマネジメントを目指す。基本情報技術者試験に合格した学生は、応用情報技術者試験（AP）を目指す。
授業方法	情報処理技術者試験に合格することを目標に、試験範囲の講義に加え、過去問演習、解説を行う。習熟度確認のための小テスト、e-ラーニングによる家庭学習課題等、授業の進捗に合わせて適宜実施し、評価に組み入れる。また、前回の講義内容を理解し習得済みであることを前提とした講義を行う。理解不足は放置せず、復習してから講義に臨む必要がある。
成績評価方法	課題 50% 過去問の点数の増減を基に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	教科書を忘れずに持参すること。資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	資料を配布する

授業計画	
第1回	ガイダンス 情報処理技術者試験の必要性、今後の進め方を理解する
第2回	過去問演習と演習の解説(1) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第3回	過去問演習と演習の解説(2) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第4回	過去問演習と演習の解説(3) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第5回	過去問演習と演習の解説(4) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第6回	過去問演習と演習の解説(5) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第7回	過去問演習と演習の解説(6) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第8回	過去問演習と演習の解説(7) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第9回	過去問演習と演習の解説(8) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第10回	過去問演習と演習の解説(9) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第11回	過去問演習と演習の解説(10) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第12回	過去問演習と演習の解説(11) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第13回	過去問演習と演習の解説(12) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第14回	過去問演習と演習の解説(13) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる
第15回	過去問演習と演習の解説(14) 過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる